

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. 2022 年念頭にあって

新年あけましておめでとうございます。

一昨年から引き続いて昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいましたが、我が国においては2回目ワクチン接種率が世界トップクラスになり、日本人の衛生観念の高さから今のところ治まったかのように思います。

しかし秋口から暮れにかけてまた、欧米・アジア中心に再拡大の様相を呈しています。その動向によっては、今後業界の活動内容にも大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

昨年はまた、このコロナ禍の中で、無観客ではありましたが、強行に五輪が開催され、菅政権が岸田政権に変わる大きな糸口となりました。

その後、衆議院解散、政権選択選挙が行われ、自公政権が維持されたことで大型経済対策が予想され、景気回復の兆しも見えてまいりました。

我々ダクト清掃の需要は、奇しくもそのコロナ禍によって「清浄な室内空気的重要性」と共にますます高まってきています。

その現状をふまえて来年度は、次の5つの事項を重点に進めていきます。

1. 会員のためになる協会にしていきたい。

これまでの協会活動は、会員の技術力向上のため学術的な調査研究が主体でしたが、併せて外部に向けた活動にも力を入れていきます。協会自体の存在とダクト清掃業の仕事を知ってもらうための活動に取り組みます。特に建設業や設備関連団体に対して協会活動の周知に努めていきます。

2. 建築物衛生法の実行性ある数値と清掃頻度の法制化実現

空調ダクト清掃業は2002年に建築物衛生法の登録業種に認可されましたが、同法の管理基準では浮遊粉じんの量は定められていても、ダクトに堆積した粉塵量や細菌数、清掃頻度などについては具体的な数値が明記されていません。

それを法制化すべく監督官庁に働きかけていきます。

3. 「空調システム診断士」「厨房排気設備診断士」の国家資格への格上げ

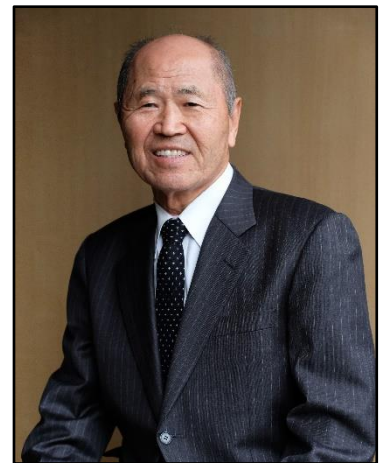
両診断士を「空調・厨房設備診断士」に統一して、資格の認知度向上や受験者の意欲の向上につなげます。

4. 政策委員会の活動開始

従来当協会は政治活動を行わなかったが、今後は建築物衛生法の具体的な法制化の実現と「空調・厨房設備診断士」の国家資格の実現を目指すための活動をします。

5. 海外団体との交流と先進技術の導入

従来米国の NADCA（全米エアダクトクリーニング協会）と IKECA（国際厨房排気クリーニング協会）と交流を図ってきましたが、両協会の先進技術を協会にどう落とし込んでいくか具体的に模索していきます。



2. 活動報告 2021年10月～12月

日時	内容	会場
10月20日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
10月12～13日(火水)	空調システム診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
10月28日(木)	ビジネスモデル委員会	オンライン開催(ZOOM)
11月17～18日(水木)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
11月22日(月)	評価認定委員会	ハイブリッド開催(ZOOM)
11月25日(木)	広報委員会	オンライン開催(ZOOM)
12月3日(木)	ビジネスモデル委員会	ハイブリッド開催(ZOOM)
12月9日(木)	環境経営委員会	JADCA 事務局会議室
12月22日(水)	広報委員会	オンライン開催(ZOOM)

3. 活動予定 2022年1月～3月

日時	内容	会場
1月12日(水)	空調・厨房用 VAV メンテナンス オンライン説明会	オンライン開催(ZOOM)
1月26日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	オンライン開催(ZOOM)
1月20～21日(木金)	第49回建築物環境衛生管理全国 大会 花木理事発表	日本教育会館一ツ橋ホール
1月24日(月)	臨時理事会	オンライン開催(ZOOM)
2月9日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
2月22日(火)	JADCA 建築物環境衛生セミナー 「SDGs と JADCA」	オンライン開催(ZOOM)

4. 研修・講習のご案内

作業従事者向け

ダクト清掃作業従事者研修

第3号事業登録要件の一つに「年一回以上全作業員が研修を受けること」は、社内研修でもよいということになっておりますが、JADCAでは、本研修を受けたものが社内研修の講師となるべきとの観点から、JADCA認定の技術評価制度において、本研修の受講者が毎年いなければ減点対象としています。技術評価受審希望の会員企業はこの点もご留意下さい。

日程	内容	時間
1月26日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	受付開始 9:00
2月9日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	9:30~17:00

5. 空調用ダクト清掃技術評価制度更新時期のお知らせ

建設省の「建設技術評価制度」に代わる制度として、また会員企業全体の技術水準の底上げ・標準化を期するべく2012年3月から、空調用ダクト清掃技術評価制度を開始しました。制度10年目を迎え、順次更新を済ませております。

引き続き更新を行ってまいりますので対象となる会員企業の方は書類等を振り返って頂き、ご準備の程よろしくお願い致します。下記は今年度対象企業です。

*詳しくはJADCAホームページをご確認下さい。

更新書類提出期限 2022年3月15日

<http://www.jadca.jp/info/hyouka/index.html>

会員名	更新日	工法
(株)クリーンシティ	2022年3月29日	M.T 清掃ロボット工法

6. 支部長からの新年のご挨拶



おめでとうございます。当地北海道は、コロナ禍で観光客と移動が極端に少ない状態が続き、多くの道民が青息吐息で暮らしている状況です。一方空気はじめ水・消毒・ビルメン等に携わる道内各社の方の話から感じるのは、コロナのマイナス影響がありつつ、各種メンテ（保守+維持+α）業務自体は減る事が無いと言う変わらぬ特徴で、マイナスリスクの多い時代だからこそ、真摯な経験を積み重ねた誇りと質を保ち職場と社会に貢献したいと感じます。想定していないニーズや事態にセンサーを張りつつ、JADCA として会員各社と社会に貢献出来る事に注力致します。

北海道支部 支部長 今井昭彦



2022年、明けましておめでとうございます。JADCA 東北支部の活動は、久しく行っておりませんでした。今年度より活発に動いて行きたいと思っております。

コロナ禍で換気のメンテナンス需要が多くなって来ましたが、それでもまだまだニッチな分野の清掃ですので、各社様のお悩みや成功事例など、情報交換をもとにした会から始め、互いに発展出来る支部会に出来たらと思っておりますので、何卒ご協力賜ります様お願い申し上げます。

東北支部 支部長 大庭孝仁



支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍の中、なかなか皆様にお会いする機会もなく、また、支部活動も実施できない状態が続いています。各社の業務も建設資材・電子部品の供給遅延等が散見されておりなかなか厳しい状況です。

ただ zoom 会議などを行っていると遠方の皆様と実際の距離を感じることなく瞬時にお会いできることが出来るなど新しい発見もありました。JADCA も換気問題のセミナーを実施すると全国から非常に大きな反響がありました。

今年は、コロナ終息を願うとともに皆様にお会いでき、社会変化にも適応しながら持続可能で共生できる社会作りに貢献できるよう、皆様と共に邁進していく所存です。

皆様に再びお会いすることを楽しみにして新年のご挨拶とさせていただきます。

東関東支部 支部長 末光眞二



新年おめでとうございます。昨年もコロナ禍は長引いておりましたが、年末にかけては以前のように「とにかく自粛」という状況ではなく、経済活動は活発になってきております。JADCA の活動も、リモートと対面を織り交ぜながら進んできました。

昨年は、支部の活動としては具体的なことはできませんでしたが、今年是对面での活動も含めて何か企画を立て、コロナ禍に対応した新しい支部活動を再会したいと思います。

本年も引き続きよろしく願致します。

西関東支部 支部長 清水晋



2022年の新春を迎え、コロナ禍という2年に及ぶ長い暗闇の先によりやく光が見えはじめたように感じられる今日この頃です。

とはいえ、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、会員の皆様には変わらぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年こそは支部活動を再始動させたく、状況が許せばリアルで会合を開催して情報交換を行い、春以降にはゴルフなどの野外行事も再開させたいと思っております。今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

北陸東海支部 支部長 山田幸司



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルスも落ち着きを見せた一方、変異株の蔓延がまだまだ心配な状況です。

今年は「健康な身体、美しい身体はきれいな室内空気から」より汚染物質を侵入させない、発生させない、取り除く、ことで体調管理をしてみたいと考えております。

新年が、皆様にとって実りの多1年となりますよう、お祈り申し上げます。

近畿中四国支部 支部長 木下浩之



新年あけましておめでとうございます。

今年の九州支部は会長小川新体制のもと、“団結力”で活動して参ります。オンラインを活用した勉強会や消防関係への働きかけなど、地方より発信できたらと思います。

今年も“九州らしさ”と“熱い思い”を届けます。

九州支部 支部長 中村一午



◆2021 年度臨時社員総会の予告

日時：2022年2月4日(金) 14:00～

今年も新型コロナウイルス感染を考慮しオンライン(ZOOM)にて臨時社員総会を開催いたします。

7. 会員企業紹介 (株)空調保全工業 総合テクニカルセンター

12月2日会員企業の(株)空調保全工業遠山会長のご案内のもと、今年新設された「総合テクニカルセンター」に訪問させていただきました。

こちらの施設は高天井の2階建てとなっており1階部分は空調・厨房のフィルターを自社で洗浄し営業所ごとに保管箱の色を変え整理整頓された倉庫となっており、2階は座学で学ぶための研修室、そして本物のスケルトン使用の空調機が稼働しメンテナンスを原寸大で学ぶことができる仕様になっておりました。天井には大手メーカー各種の天カセエアコンが吊り下げられており各社のメンテナンスを学べ、安全面に於いては模擬分電盤、高所作業、屋上塔屋に設置されたバルブブロックをつけた垂直タラップなど安全に対する意識の高さを感じる施設となっておりました。

技術力と安全意識を身に着けた社員の方々が現場作業にあたる。このような企業努力がお客様から信頼され選ばれ業績を伸ばし続けていく企業なのだと理解いたしました。

また遠山会長が高圧洗浄でフィルターの水洗いをして綺麗に仕上がっていく作業を見て一言。「1か月の水道料金はいくらなのか？」と。。。さすがコスト管理の意識も大切な企業努力だと、ただただ頭が下がる思いでした。(ははあ～～)

ご案内いただきました遠山会長、総合テクニカルセンター山崎センター長、お忙しい中丁寧にご説明いただきまして有難うございました。機会がございましたら次回は会員企業の皆様とご訪問させて頂きたいと思っております。その際はお忙しい中またお手数をおかけいたしますがどうぞよろしくお願い致します。m(_ _)m

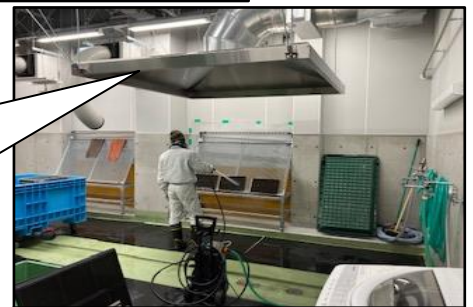


総合テクニカルセンター外観



1階フィルター保管スペース

ポイント!
営業所別にケースの色を変えて管理



1階空調フィルター洗浄作業場

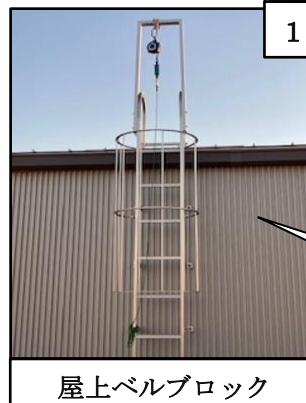
ポイント!
厨房用のフィルターは脱臭機能付排気フードで排気



2階スケルトン空調機

ポイント!
各社の天カセ

ポイント!
特別注文のスケルトン空調機
勿論中に入れます



屋上バルブブロック

ポイント!
洗浄した廃液は排水栓にて分別処理

ポイント!
屋上への階段塔屋を利用して設置

事務局 etcetera (エトセトラ)



専務理事の清水です。皆さん、おいしい焼肉、召し上がっていらっしゃいますか？

私はといえば、普段はもっぱら格安の食べ放題ですが、先日、珍しくちゃんとした(?)焼肉屋さんに行ってきた。

私が受けている研修の受講生仲間の忘年会だったのですが、受講生の中に、上野で3店舗を展開する焼肉屋さんがいらっしゃいまして、その方のお店での開催となりました。せ

っかくの機会なので、飲食店応援の意味も込めて1万円のコースに決めました。

値段が上がればそれだけおいしくなるのは当たり前ですが、出てくるお肉に名札が付いている時点で、もうびっくり。もちろん、味もびっくりするくらいのおいしさで、参加メンバーも「めっちゃめっちゃおいし〜！」と叫びながら、忘年会も大いに盛り上がりました。

さて、これだけでは単に焼肉がおいしかったという、どうでも良い話ですが、焼肉屋さんからお肉のいろいろな話を伺ったので、そこで思ったことをひとつ。

焼肉屋さんは低価格路線から高級店まで大きな幅がありますが、安い肉、つまりあまりおいしくない肉を使っても、「タレ」のおいしさでカバーすることができるので、そこが焼肉店経営の面白いことだとおっしゃっていました。

高いお肉はおいしいお肉だから、高い焼肉屋さんはおいしい、安い焼肉屋さんはそれほどでもない、と単純に考えていましたが、それだけではないのですね。これからは、お肉だけではなくタレにも気をつけながら焼肉を楽しもうと思いました。



編集後記

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響は未だ予断は許されませんが、停滞していた活動に少しずつ動きが出てきたのではないかと感じております。活動を制限された2年近くの期間により、行動様式は変化をもたらしましたが、新しい形として定着してきたのではないのでしょうか。

このコロナウイルスによって私達は何を学んだのか、人それぞれご意見があると思いますが、困難を前にしても一歩ずつでも進んで行かなければいけないと、私ごとながら新年の始まりに律する思いであります。

本年も会員企業の皆様と共に更なる活動を進めていく行動を模索しながら、有益な情報を提供できる様に JADCA NEWS を届けて参ります。

JADCA 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿一丁目2番7号

TEL : 03-5828-6116 FAX : 03-5246-7380

E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>